

乾癬とふしぶしの痛み

乾癬とは

乾癬は、免疫の異常により皮膚の炎症が生じ表皮の細胞が過剰に増殖して、右の写真のような皮疹が見られる病気です。乾癬には様々なタイプがありますが、最も多いものが尋常性乾癬です。



(Ann Rheum Dis 2005;64:ii18-ii23.)

このように皮膚症状に注目が集まりがちですが、近年は全身に炎症を引き起こしうる病気として理解されてきています。関節も例外ではなく、関節やその周囲に炎症を起こすものを**乾癬性関節炎(関節症性乾癬)**と呼びます。

乾癬性関節炎(関節症性乾癬)について

- 乾癬患者さんの10～15%が乾癬性関節炎を発症すると言われます。
- 乾癬を発症して数年以上経過してから、関節症状が出現することが多いです。
- 皮疹と関節症状の程度は相関しません。
- 下記の様に、関節だけではなく背骨や腱、爪の炎症も見られることがあります。

乾癬性関節炎の多彩な症状

末梢関節炎	脊椎病変	腱炎	指趾炎	爪病変
関節の腫れや痛み	脊椎や仙腸関節の痛み*	アキレス腱などの腫れや痛み	指のソーセージのような腫れ、痛み	爪の変形

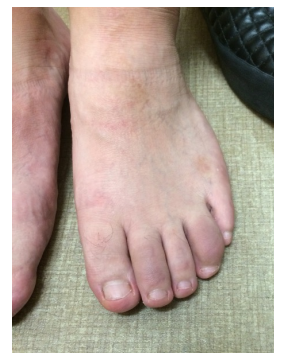
* ワンポイントアドバイスの「リウマチ性疾患を疑う腰痛」も参考にしてください



関節の腫れ、爪の変形
(UpToDateより)



右アキレス腱の腫れ
(Rheumatology 7th ed.より)



左足人差し指と薬指の腫れ
(自験例)

皮疹が軽度でも、関節炎が強い場合は治療が必要です。乾癬の患者さんでふしぶしの痛みや腫れがある場合は、医師に相談しましょう。